



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

1

僕は今回、原爆に関する授業を受けてみて、最初は原爆についてのことをあまり知らなかったけど、今回の特別授業を受けてみて、原爆の中にも色々な種類があたり原爆の規模など色々なことについて知れたと思います。僕が原爆のことって驚いたのは爆発の規模です。始めは原爆の爆発の規模はどうくらいかの分からぬでしたが、今回の授業で実際の映像を見てみて、自分が思っている以上の爆発の規模でとても驚きました。さらに、僕たちは自身は実際に原爆の被害を受けていませんが今回の授業の映像を見てみると当時の日本は原爆による被害がとても大きかったんだなと感じました。また、映像の原爆投下の瞬間を見ると、アメリカの飛行士は原爆を落とした後に操縦者は高度を急降下する時の重力をうまく利用して加速していることを知り、とてもすごいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことについてあまり知らなかつたし、あまり考えたこともなかつたけり、今回の講話を受けて、とても多くの被害や死者が出て、すじくたゞへんて悲しく、ひさんなものだ、たと思ひし、投爆の候補地に横浜があつて、自分にはあまり関わりがないと思つていたけど、すじく身近なものに感じられた。

受けた側から見た視点、だけではなく、落とした側（アメリカ側）からの視点、からも見ることでどうのようにして運ばれ、どうのようにして落されたか、どのくらいの被害がでたのかを知ることもできた。

また、話を聞いていて、作つたり、落としたりした人はどうのような気持ちだったのかや人の傷つけられために何につくったのかなどたくさん質問がうかんでまたから、もっと深く知りたつと思つました。

こうゆうことは日本だけしか学べないからこの経験も大切にしておきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕達の住んでる川崎にモレ落とされていいたら、生き方も遠くなつてくんだろうし、広島の人々や長崎の人たちが何のこともしていなけりにいただに戦争を止めるだけで、被害をくらつたのはおかしいだろうと思いました。これから49年たつけど、今だに世界では核兵器をもつてゐる人達がいるし、何故ちいしい思いをしてる人がいるのに、平然と同じ事をくり返さないでほしいです。今後こうすることをなくしてもうなくすためには原爆の酷さを世界中の人に伝えねばだと思つた。義三さんも、実体験者だから話す時に昔のことを見出しえ感情が勝手に出てはまほど、本当に幸いことだらんだと思いました。自分達が実際に経験をしていなくても、これをどんなに伝えることで、「戦争はしていけない」ということを教えることが僕達のひまむ役割だといつこだと思いました。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は広島の原爆の話を人から聞いたのは未だめてじ

しかも実体験者の話を聞くことまで王たのはほとんど探しめたです。

特に印象に残っていることは、1日は原爆は最高で100万℃にも

なるということです。そんなに熱いのは恵沐ないと思うし、太陽で6000℃前後なのに

その100倍以上となると恐ろしい暑さだと感じました。これにたった1発の原爆で

14万人も犠牲にならざるとても恐ろしいと感じました。2日は人間が原爆の

被害に会うと炭のかたまりが跡しか残らないということです。人間は元々、骨など

の形が壊れずに被害に会うと骨すら消えて炭になりどこかに飛んでしまって

かかると非常に悲しい気持ちになりました。そして放射線と衝撃波の驚異に

びっくりしました。みんな高い放射線は映像では分かるけどほどの物だと危ない

恐怖を感じました。今回の授業から原爆の恐しさと悲しみをもと

色んな人に分かてもう少し嬉しいと感じることができました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を聞き、戦争そして原爆がどれほど悲しいものか
てはいけないことが改めて知ることができました。これだけの
多くの人が死んでしまったという実際のできごとがあるということ
がとても悲しいことだということを感じ、被爆者がそれだけつら
かったたうかと考えました。被爆者だけではなくその周りの人、
家族までもが悲しんでしまうようひどいできごとだと思いました。
7000℃の少年という意味はもえてました、私も原爆でもえこ
もたという意味だとどうえました。この話の中で、外国側もいるえ
がとまらぬかたと証言されているという話を聞いて、戦争、そして
原爆はたまもせたいにしあわせにならぬものだと思ひました。
なのでこの戦争はせりたいにしてはいけないとあらためて分がれました



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾かやはどれだけダメなことが
を今回の特別授業を受講して感じました。
原爆をおとす候補がたくさんあた中の1つの
広島が結果的に落されたけど、どこの地域に
落とされても、広島のようになっていたと思うと、胸が苦く
なる。たった3.12mしかない物を、1発落されて、35万
人中14万人も死んでしまったのが、とてもひどく、悲しい事だ
と思う。また、生き残ったが、被爆してしまった人も、当時
のまくや、その後の放射線、原爆症など、
後遺症などの苦しみがあるけど、生きていて、良か
たと思う事もあると思うけど、苦いものっていると思う。
なので、人が死んでしまう。戦争も、原爆も核兵器も
無くなれた方がいいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私たちには今まで戦争や震災に合ったことがありますし、

この先、そういうことをやりたいことを願ってます。

でも、もしかしたらもう一度同じようなことをやってしまって
今までになら絶望感に苛められるかもしれない。けれどもうな
特別授業から、平和を維持していく力だと感じました。

今まで、核兵器を持つ国はあるけれど、その核兵器はどう
なってしまうのかをしっかり世界中に知らせる必要があると思つたし
日本人としてこの出来事は彼らと言ひ伝えないといけないし、この先
同じことをがんこはいけないと危ないと思った。今ドクライツと

ロシアとの戦争がおきていて、この先どうなっていくのか、分からないと
いた。また多勢の犠牲者を出していくのが怖いし、人々をあのとき
のような感情にさせちゃいけないから、日本人が自分たちがS
活動でいくことを大切だと思いました。今回学んだことは、
自分の心に鍛錬されたし、反論と意見を交流し合って、これがS
自分たちがどのままで行動するべきなのかもしっかり考えて
いる感じになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

先生のお話や映像を見て、今まで「怖い」という感情では「怖いだけ」と「今國のお話の中で」「怖い」から「恐しいけれども知つておいでほうが良い。」という考え方になりました。

来年度の5月に広島に行き際 資料館の他にも
広島の街や川の近くを歩いたり見てきました。
けいわんをしてながら私たちはから、当時の状況は
分からないけれど、何かこの本当の「広島」という
土地で、自分が受け止めなければならなかったと
理解してはいるが、したければ「かうかう」と
あとと思うので、資料館で、ほかの話を聞いて、
震えが止まらず、また、呼吸が荒く、少しでも
当時の状況を写真から見てあり手が感じて、
苦しくなる。それから自分の「言葉にできなか感想」というものを
自分の中では味わうこの気持ちを、学校行事の一年間
で終わらせ、一生の経験として自分の中に
残せたら良いと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆弾が広島県におちたとき、私たちはその場にはいなかたし、産ませないませんでした。私たちが産まえてきたときには、戦争ということばを鬼に浮かべるモノ、は私の周りにはありませんでした。ですが、原爆ドームのような目に見える形で“残り”いるものも、心中にきていました。自分には関係ないことを、戦争から目を離してしまえば、また、同じことがおこってしまう。そんなことが“なにより”毎年テレビで8月6日に黙想をしているのを目にして、家族も私も一緒に目を開じます。今日の受講では二度と同じことを“なり”ように、しっかりと向あわせきゅうけないと身にしみて感じました。義三さんの話も思い出せば“三段丸”あふれてしまうほど“つらいことだ”と思われながらも、私たちに伝えられたことを、とても感謝しています。私たちが大人になったとき同じように受講することは“まだ”なくても必ず“伝えたい”大事だ”とおもいました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆について話をきいて原爆などの怖さを矢口りました。今までには、教科書にある写真でしか見ていなかつからざれだけすごいのかたつたのかなくらいで考えていたけど今日の話で原爆の落とす所をどう決めたのかを知り、効果的なところに落とすのはひととも思つたけど「戦争だつたからそこは少ししょうかないところもあるのかと思いました。また、原爆の効果で、太陽の表面温度より高い温度が600m上であき地上でも鉄かとけてしまふぐらの温度よりも高い3000もの温度になつてゐると考えると、とても怖いと思いました。それから、そのひ害に合つてしまつた人はとても多くその人たちはずぶく怖かたし辛く苦しかつたつらうなと思いました。でも、その人たちではなく義士たちのようなんたちもとてもつづかたつらうな思います。そして、これらが非平和でこんなことかもうおこらないで欲しくなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の授業を受講して改めて原爆が
どれだけの人の命をうばって、広島、長崎を一瞬
のうちに破壊してしまった恐しい物だって学びました。
小学生の時に読書感想文の課題図書で「ピロシマ
消えた家族」という本を読んだことがありました。その本は
原爆が落されてもかり変わってしまった家族の様子を実際
の写真を使いながら説明している短い本でした。私は
この本がきっかけで原爆がどのような物だったかを学
びました。そして、今回の授業を通してより実感がわ
き、あつた事だという実感がわきました。歴史の中だ
けのことではなく本当に広島に落されて、多くの人が
被爆し、建物がなくなってしまった事が話や映像
から分かりました。

今回学んだことをきっかけにさらに広島や長崎
に落された原爆は誰も幸せにさせない絶対に
許されない物だと心に土さむことができました。そ
して多くの人が亡なって、今も苦しんでいる人がいること
を忘れず(に、私たちが大人になった時もこの話をかたり)
ついで、つけても多くの平和にこうけんしたいと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分が知っている・思っている以上に大変でひさんなことだ"と今回話を聞いて分かりました。

身近にないことだ"からこそ、しっかりそういう話を聞いて学ぶべきだと改めて思いました。

原爆が落とされた時やその後のことなど、知らないことだらけで、話を聞いているだけなのに、そこへ嫌な気持ちには、たりこれ以上は聞けないなと思うほど凄くくるしかったです。祖母からよく空襲の話は聞いていたんですけど、それよりもずっとひどいことだ"だと思いました。

実際に体験した人よりも全然くわしくないし、

知らないことが沢山あると思うけど、

今後知るきっかけをつかあ、たが知っていたいです。

人の命を大切にすべきだ"だと思いました。

知っていくのは少し怖いけど、実際に近い映画など、沢山出ているので、見てみたいです。

当たり前か当たり前ではないということを

考えながら、身边の人にしてかり感謝して生きていい

たいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を通り、戦争が寧靜へあつたのか
うそく感じられたが、とても驚きました。自分と同じ
くらいの年の人達が被爆者を背負い、瓦礫を運び、
17才の人の手当下さいし、自分が17歳の子供
理不尽な戦争に巻き込まれて死んでいた事と知
り、今まで見てきた資料や写真がどれほどされ
たかのれどよく分かりました。今ハ島田とて
平和でなくとも鏡花容姿が見たいです。そして
日本は戦争多く進んで平和の首川廢棄した事。
でも、今日の授業を學んだ、今平和が何で、平和を
守るために戦争をやめ、毎日が何で平和の爲
に、寧靜が何で平和が何で、私達が何で、平和を慕う
うそくあります。多くの人の犠牲が出来た事と、今事と
変わらずこれまた生活が出来ない事がある事。
また、日本が戦争をしてしまったけれど、今は世界各地で
戦争が起っています。今までさんざんと日本が「アーヴィング」
世界にも目をつけた。平和は世界が何で
生き残る事。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受けて原爆のことを
を知った。原爆は爆発して中心部が100度、
そから700度そして島の地面のところへんは
3000度にもなることがわかった。そして大島の表面
温度は6000度であるため中心部から少し離れた
場所でさえ大島の表面温度よりも100度も高い
ことを知った。そのため川における水は全て蒸発して
しまい死者は14万人になってしまったといつて
また原爆が落とせたところは一瞬にして
温度が上がり、すごい勢いで空気が膨らみ
る。そしてそれがひとくじらになると、すごい勢い
で空気が逆流してくる。もろともとすごく強い上昇気流
ができる(蒸気が上がり)が、強い上昇気流のた
め普通雲が(ほど位置)上へいく。そして原爆
雲が(ほど)いた。このふうなことを聞いて原爆
がどこにも落とせないでほしいと強く思った。
も誰もこのふうなことを経験しないでほしいと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話では初めて知ることが多かった。原爆についてより理解を深めることができました。話を聞いていた中には想像したくない位恐ろしいことがあって、今の広島と重なるとそんなことが起きたなんて信じられないなと思ったし、広島の街がはじめに見た景色とはまたたく間に違えて見えました。たまたま駅前などで「原爆をなくさう」的な声かけをしていたのを見るとけすけど、話をきいていた中で思い出してもは何も思わずスルーしていたけど原爆の恐ろしさを改めて知ったことでの声だけにも少し興味がありました。修学旅行で実際に行く原爆ドームは今回聞いた原爆の恐ろしさを思い出し原爆について未来へ伝えていくことの大切さや原爆を防ぐえてこれからどうするべきかを考えながら見てみればいいなと思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

改めて公演を聞いてみると、いかにも「これが原爆がひらしたのか」被爆した人達かと「んな思いした」だったのかを知りました。

原爆の威力は、町や人を吹きとは「すた」ではなく、多くの人の影を残したという印象に残っています。今の瞬間にまで、それは人々にとって、その人が一瞬にして消えてしまったと考えると、原爆が「それほど」のものをうはっていったのが、考えさせられました。自分の想像を絶する程に、痛々しい人々の姿を声や音に言葉を付いました。

今回の公演で私は、原爆というものの「これが」のものをうはっていつのかも知るなりとありました。この歴史を二度とくり返してはいけないと強く感じました。

今日学んだことを生かし、今後の人生に役立て、学習に生かしていくといふ思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今まで自分は原爆のことがあまり日頃から考える事は無かったけれど今回の原爆先生のお話や動画を見て「こんなこともあったんだなー」程度に考えるのは違う気がしました。僕は今回のお話を通じて「そんなこともあった」ではなくて「そんなことが起きていた」と考えるのがいいと思いました。理由は、一つの原爆で被爆者は24万人、死者数は14万人という目をそむけることは到底できまいことがあるからです。さらに恐いのは死亡率の高さです。なんと5人の中の2人は亡くなってしまうという事が僕はとても印象に残りました。僕達は残り大体3ヶ月ほどで修学旅行に行くので、そこで原爆ドームを見て、現地の人のお話を聞いた時にはしっかり今回の原爆の話をしっかりと心に留めて忘れないようにしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回先生の話を聞き、あらためて原子爆弾の怖さを知るところがございました。

話を聞く前は、広島と長崎は昔、原子爆弾が落とされた。くらいのことしか知らず、知ろうともしませんでした。

しかし、今回先生の話を聞いて、落とされた直後、人々がどのような状況だ。たのか、何故広島と長崎に原子爆弾が落とされたのかを知れました。

特に印象に残っている言葉は、前の原子爆弾が落とされた直後の話です。

先生の説明の表現だけではなく、そこには動画や写真、絵をつけたことにより、より原子爆弾の恐しさを知れました。

また、誰かに仕せるだけではなく、原子爆弾や戦争の恐しさを他の人にも伝えていかなければならぬ、と感じることになりました。

今日は1日、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、約100分間にわたり受けた授業では、原爆が落ちたときの義三さんの体験談などを聞いて、その当時のことを深く知道了ことが出来ました。まずなぜ原爆が落ちたのか広島などのこと、
広島、小倉、長崎、横浜、新潟、5つの候補地が、原子弹爆弾投下都市の条件、直徑3kmを超える大さな都市、平野であり、原爆の効果が最大に発揮されるところを選ぶことや、空襲がなりたところを選んでいたことなど、広島になったことが分かりました。京都は、1200年以前の建物があることや、日本以外の軍が日本を支配したときに、日本からの信頼を失うことにして組れなかたことも、今日の授業で知ることが出来ました。
エラ・ゲイによって落とされた「リトルボーイ」は、9632mの高さから落とされ、約4km飛んで、地上 600mの位置で爆発しました。爆発した中心は100万度、外周でも太陽より暑い7000度あり、地上では3000度という、「暑い」というレベルではない程度の暑さが襲いました。広島市の人口は35万人で、その内の被害者は24万人で、約7割程が被害にあひ、その内の14万人は亡なってほひました。死亡率は40%で5人に2人が死んでしまった。こういったことが過去にあひたので、二度とこのようなことを繰り返して欲しくないと思ひました。



じゅこう

原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分は今まで被爆者のお話を何度も聞いたことが“あったけど、兵隊さん曰くは初めてでした。ところに、いたいを焼やすお話が一番印象に残っています。原爆によってやけにげ”夏の日にさらさかれていたのは、自分で想像もできぬけど、まるのもさわるのも色々な意味でつらかったんだろうと思ひます。人間なのに、同じ人間と思えぬような容ぼうとした人、向いなど、目を背けて、今までにいたくはまようなものには、ちゃんと命令にしたがったのはあたたかく思ひました。助けたいのに助けられない。自分の命の危機もあるなんて本当にいじれ絵図でかいてへ言葉にならぬ文字であらわせぬようなものだと、感心しました。そして、投下後にもこうい症かが残ってしまうと書いて、人の一生を変えてしまうものだ”と分かりました。原爆、戦争は、けっしてしてはいけないものだと想い直して、このことか“風化せぬように、自分も忘れない”。伝えらるるような人にたりたのです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆のお話を聞いて自分がわから
ないことなど"がたくさんありました
戦争の人々が原爆ドームでたくさん
分かりました。

もうにじと原爆をおさせないために
自分になんとか出来るか少し分かってき
たと思ります。

原爆先生のお話はどこもわかりやすく
いままで自分の自分をかえてもうえました
今回はとくべつないヨカリをありがとうご
かりました。自分はしけりかつにかんしゃし
ことりよくしていきたいと思します。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう
表

名前は裏面に記入してください

原爆についての授業を聞いて、広島や長崎の原爆のことなどたくさんのことを見ることができました。今回の授業の内容で、原爆の被害や、いりよくのことしか印象に残りました。広島に投下されたモリトルボイはとんでもなく高い温度でそれを何百メートルかはなれたところまで放射線などでとともに人に影響せし人の形が保ひながら建物をすぐに簡単に壊してしまふくらいのいりよくでいても大変な被害にあったと当事の映像とかを見て思いました。他にもモリトルボイのことについて学んでからサキ波の速さが毎秒440mだと知って音の速さよりもはやいのに、とんでもない被害をもたらす原子爆弾で驚きました。3年に広島へ行くので、原爆ドームとかを見て、改めて原子爆弾の被害について知りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

小学生の頃から、戦争や原爆について学習をしていました。知っていたことも多くありましたから改めて、原子爆弾の恐ろしさを学びることができました。一瞬にして消え去り、黒いしみた“けが残った”という階段の写真を見たときは、すごく驚きました。原爆は、その場所にいた人たちたちはではなく、すべての人たちが苦しい思いをするものだ”と思いました。私も、今日のお話を聞いて、聞いたことはあ、たけれど“こんなに怖いことがあったんだ”と、悲しいと、うか、苦しいという複雑な気持ちになりました。話をきくたてでも恐ろしいのに実際にその場にいた義三さんは、どれだけ恐怖を感じたかを考えるだけでも辛いです。なのに、懸命になんとかして被爆した人を助けようとして、辛い作業をしていましたことは、本当にすごいと思います。那样的な方がいたからこそ、今の日本があるのだ”と思います。今は、世界各地で争うことがありますが、今日のお話で“学んだ”ことを人にしますといこうと思います。私一人では大好きなことをすることはできないけれど、原爆の恐ろしさを忘れないうちにしているのです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は今回の原爆の話を聞いて、こんな残酷なことがあったんだなと
思いました。義三さんが、実際に見て、人の形をなんとかしている
人、皮膚が焼けてしまい、水たまりに死んだ人、もまた、そこは自分
がいたということが分からぬまま死んだ人、自分が想像ができない
恐ろしいことが起きていたことを知ることになりました。そしてこれが、
た。たつのアメリカが作った爆弾によって引き起こされたことという
事実上、現実味というものを感じることができました。義三さんは、
住神さんから、理由で広島市へ行きましたが、そこには地獄絵
図、そしておびただしい数の死んだ人を自撃しただけではなく、死体
の処理をされたことを考えると、どうこうなメンタルの強さの人たち
でしたのは見えました。そこで義三さんはこれを「住神さん、だから、
と言っていたのです。もし自分が義三さんの立ち場、自分で8人の指揮
をしなければならない、さかえは、目に反対する二七八月八日
前に広がっているのは、地獄を走った何か、というめずらしいフレッシュ
のかかるとして、かねてから自分が、たゞちと逃げ出したくなることを大
きいとして、そして、住神が終ちて帰る時、人の形を保っているこ
とが幸運だと言つてことから、もうどこかいい場所にいたとい
うことを表しているんだなと思います。これからこの上な見えます
人がおついようにならぬためにも、原爆というものを知り、無くせないと川口ひで思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2 / 8

僕が「授業を受講して学んだこと、また知ったことは原爆の落とされた様子です。また、実際それは被爆にしか知りえないことがもしませんか。僕には想像をせ、するほどにつらく、自分自身ではどうしようもなく苦しかったことでしょう。僕は授業を受けたとはいえ、ほんの一部始終を見たにすぎません。実際、第二次世界大戦は私たちが授業を受けた時間よりもはるかに長く続いています。また、被災者たちや兵隊さんたちのために今まできることはその時おこった原爆や被災者たちの気持ちについて知り、次の世代の人々に語り継ぐことをと思ったら、広島でまた原爆についてよく知り学びたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/8

今日の授業を受けて、広島がこんなにもひがいにあひたのだと知らなくて、やばがったんだなと思いました。

人の体ではなくなっていたり、ヤケドをしていたり血だらけになっているのを見て、バガいたがつて、くるしかったんだなと思いました。

原爆が太陽よりもあついものだと今は今からたので、兔から強になつたし、あらためて色々な人に感言射をしいといけないなと思いました。

1つのはくさんで14万人の人人が亡くなつていて考えたら、おそろしい怖いです。

義三さんの気持ちがよく分かりました。

いっしゅんにしてあとがたもがくてしまつた人たちには、悲しいです。

今回の特別授業で、命の大切さを知ることが出来てよかったです。なので、僕はこれから的生活を大切にして命を大切にして生きていきたいなと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

まずは自分は原爆とかを被爆などと体験したことなく原爆投下日に広島県にいた人達の恐怖などが受講する前は全く分からなかったのですが、受講をしてみてもう1回その人達はどういう恐怖体験をしていったのかを考えるとあのい、いんじ広島にいた人達が消えてほってたのかななどを想像できました。また自分以外の家族全員が亡くなってしまった場合などの恐怖なども原爆弾でうえつけられてしまうんだなと思いました。もし自分がその当日にいたり自分も被爆した人と同じ状況になると人だなと思い焼けたや原爆症かすごい人がなと思いました。自分は受講を行ってあるためこの戦争や核兵器の使用は良くないしこそからは核兵器を作ってはいけない物だなと思いました。あと今行われている戦争などがいち早く終わって平和が取りもどせたらいいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆がひこんだったことは昔から知っていたけれど、ぐつに死んでしまったのが何よりもかんじた。なぜか自分もあらわかつたので今回知れて学びがたくさんあったと同時にすごく小声がしたのです。皮膚が剥がれて肉が見えたり、今では想像もつかないようなことがたくさんあります驚きをかけさせません。でも、今回こうして知れたので忘れずに自分達が色々な人にかたりついて、2度とこのようないふしがあらぬようにしたいです。

1つ1つどうしてこのような行動にいたったのかを毎日説明してくれてわかりやすかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、絵や動画、
言葉、写真を通して、自分で平和と非平和について
考えて、当時の被災者の気持ちを
考えることができた。

原爆は今までの学習の中で学んで思っていたこと
よりっと大きくひさんな出来事だったと知れた。

原爆ドームが元は産業奨励館というもの
だったとは知らなかったし、衝撃波の速さも
今回初めて知ったことだから、これからは授業を
生かしてもっと原爆のことを知っていかないと
いけないな、と思うことができた。

原子爆弾は太陽よりも熱いという例えが
分かりやすかった。

もう二度とこんな出来事が起こらないように、
1人1人が平和や非平和、原爆などに
向き合い、考えていく事が大切だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/8

原爆先生の特別授業を受講して、原子爆弾投下都市の条件や候補には、たとえ市、原爆の表面温度は太陽の表面温度の6000℃と見える7000℃にはないことやそれが降、くる恐怖など学びました。特に、候補には、たとえ市で京都には破壊の結果がまちがいなくわかる場所なのに除外された理由が人間や日本人にとって重要な文化財があるたとえ、京都に対する日本人の感情が爆発し軍の命令を聞かなくてはならなかったからという説だ、たとえが印象に残りました。そんなに日本のことを考えられるんだからそれでも原爆を落とさなくては良かつたのではないかと思いました。また、原爆による5人に2人が死んでるということもすごく印象に残りました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆をせくみていきました。同じ日本とはいっても神奈川とは遠くはなれていて、だれも原爆のことにについて分からないので今回の授業で始めて知ることができました。

くわしく原爆の時の広島の様子や、原爆がどういったものが説明してくれてあの時どういうことがあたのか理解しました。最も印象に残ったのは、池田義三さん自ら当時の状況を語っていました。当時のことを話すと、みあけてしまうことが今語らぬ僕らが想像している何倍もひんな出来事だったのだと思いました。原爆先生はお父様が実体験されたことを今ぼくたち若いものに伝えてくださつていいので、ぼくらの世代もこれを語り継ぎ、風化させないことが大事に分かった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島と長崎に原爆が落とされてしまった事は前々から知っていた
いましたが、今回 池田さんや 義三さんの話を動画と一緒に
聴いて、自分達が簡単に言葉で表せるようなことはない、
ことや被爆者の方々やそれを見た人達の心情を考えると恐怖
と悲しさといった色々な感情が出てきました。やはり今までの考
や知識のままでではなく、今回の授業を受けて自分の想
を持って広島へ行く方が 私を人として何か成長させるので
は感じました。しかし、動画で 義三さんもおっしゃっていた
とおり、原爆記録館での記録は多くの人が見れるように
優しい記録かほとんどであり、自分達が真に理解すること
はできないと思ってしまいました。そうかれは 自分達ができる事は
理解しようとする心だけでは無く、平和のために行動することや、
今も苦しんでいる人達が少しでも良い方向へ進めるようにすること
ではないかと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾といえば放射線のイメージしかなかたし、その放射線についても全然知らなかたけど、この特別授業で、原子爆弾の効果とか被害のことと、よく知ることができた。熱線と衝撃波のこととを初めて知ったけど、まさか外側だけで7000°Cもあるとは思わなかたし、衝撃波も、音速を超える速さだと思ってなくて資料を見た時にすごく驚いたし、しかにこれだけの威力があるのなら、爆心地点は跡形も無かるんだろうな、てことが想像できた。それと同時に、実際は、自分の想像よりももっとひどい惨状だった人だろうなというのが、義三さんと原爆先生の話を聞いて感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

学校での勉強で原爆に触れたことがあったから
知った気になっていたけど、今日の授業を受けて
全然知らないかったいでの歴史を受けとめないと
いけないし、風化させてはいけないと思った。

興味を持たかる家でも話してみようと思う

原爆が落とされたためにできることを(た)

原因となる戦争で亡くした人が亡くなつて

いなかたら日本はどう変わっていたらうと考えた。

日本は世界で唯一被爆した国だから

世界で悲しい戦争が起きないようにしない

行けないと思った。

広島に行ったらまた理解を深めて学習へ

つなげようと思うきっかけになった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の話を聞いて、原爆がどうして広島に落ちたのか理解することが出来ました。最初は京都に落とそうとしていたのに文化財が多いからやめたというのを初めて知りました。広島の相生橋を目標にして原爆を上から落とすのではなく 4 km 離れた場所から落としているからしっかり考えて落とされていくと矢口ことができました。太陽よりも原爆の方が熱いと知って広島でひがいを受けた人がかわいいそうだと思いました。一つ原爆でみんなにたくさんの人たちが死んでしまうから、これからは戦争が起こらないような世界にしていくことが大切だと思いました。また、今も原爆症にくるしめられている人のためになることをしたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆症の危険性や原爆自体の、熱線、衝撃波、放射線について知り、原爆の怖さに気づくことができました。また、原爆ドームの誕生や温度など自分が興味を持っていたことに気づいた。衝撃波は音速よりも速く温度は太陽の表面よりも熱くなる原爆について深く考えることができました。

原爆雲について知ったときも様々な建物が紹介につれていたことからでもありました。

被爆者は全体の70%、死者は40%だと知り、原爆に当たると半数以上が死んでしまうことに、原爆の恐ろしさを深く感じました。アメリカが投下した原爆弾落下都市も広島と京都の違いがよく分かりました。原爆記念館の資料とも全然違うといっていたので想像もつかないので本当に怖いなと思いました。爆弾を投下した位置も川を2つに分けるT字形の木橋を打っていたところから、都心に近い位置に原爆を打っていると感じました。原爆の授業してみてより原爆についてよく知れたし、嬉しいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の煙をくゆしく吸って、あらためて原爆の破壊力などについて

おそろしいなと思いました。放射線などの影響によって人間の体に

悪影響をもたらして亡くなってしまう人も多くてひっくりました。

他にも原爆のほかにしてやうの温度が太陽よりもはるかに熱く

温度が高くなることにより空気が膨張して真空状態

になってしまいその空気が冷やさふことでより大量の原爆雲が発生

する事も始めて知りました。

原爆はいっしんにして多くの家族や大切な人、建物、町を焼きつらし

てしまふといった事が三度と起らなければいいと思いました。

現在も世界では戦争などで多くの人の命がうばわれてしまう

といふ事が起きてはいるが、こうした戦争が増えないためにどうしていったら

いいのかを考えていいく必要があると思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

特別授業での話を聞いて、原子爆弾が落とされる候補となた
都市の中に、京都が有力な候補だ、だけれど、実際に落とされなかた
理由で、文化財をうばってはいけないと日本人の感情をこうりょいた
のはなぜなのかが疑問に思いました。また、人間が、人間のように
見えなかた、口や鼻が分からなかた、という話を聞き、それくらい大
きな原爆で、多くの人が生きいになったのかが分かりました。広島の
人口は35万人で、被爆した方が24万人、死者数が14万人と、
人口の半数以上が被害にあわれたのが、原爆の影響力は
本当に大きかたのが伝わりました。そして、7000°Cのものが、600m
上にあって、太陽の表面温度よりも高いことに、驚きました。
これから、学習や修学旅行などを通じて、今回きいたことを
意識しながら原爆や平和についての学習を取り組めるように
したいです。そして、大きな被害があて、今までも語りつつ“けられ
た出来事だ”と思ひたので、これからも同じようにこの出来事についても
語りっこないか大切だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の授業を受けて、原爆かどのようなものだったかを詳しく知ることができました。その中で1番印象に残ってるのは広島市の人口の40%も人々が亡くなってしまったことです。たった1発の原爆でこれだけの死者が"出るほど"のとても強い爆発だ、たことを知りました。今後同じようなことがあまではいけないと思いました。他に印象に残ったのは、原爆が太陽よりも熱いことです。高さ600mの戸に太陽よりも熱い爆発が起きて、地上は3000℃もある熱さでやけような熱さで生きていることができないほどの熱さだと知りました。また、衝撃波が音速よりも毎秒100mも速いことにおどろきました。広島の目標地点が橋だったのはこうつうをしやすくするためにと思いました。重力の影響で、900mで約4kmもてまえからあとしていることにおどろきました。今も原爆の影響で原爆症と戦っている人がいるから、自分はとてもいいかんじようにいるとと思いました。今後も原爆について知り、このようなひんなできごとがあることを忘れないで生活していきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/18

今回の講演を聞いて原爆がどのようなもので人々にどのような被害をあたえたかは親からは聞いたことはあったが、画像や動画では計ったことがなかったのでより実感がわいてとう人の人々はすごく大変なおもいをしていたということが分かりました。また原爆はとても複雑なもので主な被害は熱線、衝撃波、放射線の3つで原爆の表面温度は7000°Cで太陽の表面温度よりも高く、それが地表から約600m離れたところで爆発し、地表の温度は200°Cまで達し、爆発すると衝撃波が発生し、衝撃波波(みゆき)あり、それ爆発と共に放射線が発生し、放射線と共に熱線をあびるとて、近くの人々は黒い影の如く死んでしまうということが分かりました。このことから原爆は大規模な被害をもたらすので、この先もう一度(使)てはいけないものなので、どのようにいかがを教えるかが修学旅行を行なう、原爆資料館を訪ねたいなどと思ふ。

（略）



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆では、広島を中心にして多くの命が奪われたといふことが分かりました。また、放射線による後遺症が残る人もいるんだなということがわかりました。今回の映像でもわかるように多くて、原爆を受けた人々の皮膚や手が黒くなったり、いたり腫れ上がります。リビングのように歩いている人もいる。原爆は恐ろしいといふことがわかりました。実際に原爆ドームに行ったときに、もっと色々見てみたいのです。今日は原爆について教えてください、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

映像や絵などを見て、昔、もともとむかいとか、実際に起ったんだなと思って、いけねたです。被爆者の肉体や被爆した所を想像すると、實際はもともとく、見てられるようなものではなかたのだろうと思い、そこひき被爆者を助けようしたり、死体を処理しようと行動を起こせた池田さんはすごいなと思いました。私は、原爆の温度や、衝撃波などの恐ろしさを知りて、今の世界で起こっていることの恐ろしさが分かります。少しずつ分かってきたと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

座っている人が、衝撃波によってまたたく間に
消し炭になってしまって、原爆は恐しいと
思いました。たった一発の原爆で、14万
人が亡くなつて、非常に悲しく、怖い気持ち
になりました。どちら戦争をやつても良い事なくて、
つもないから絶対にやめてしまつて、
原爆の火球の大きさが、12m、轟
が47もあるのがビックリしました。
太陽の表面温度よりも1000度も高い
1600度もあつて、しかも中心温度が、
150万度なのが、色んな意味でヤバいなと
思いました。原爆によるあれの名前が
「広島県産業奨励館」という名前なのも
初めて知りました。爆発がおきて上昇気流
が出来て、雲ができて上へと昇つて、
成層圏までいくとそこまでいくとわがまなか
雲が横へ広がり、キツツカヒ左形の
原爆雲になるのを知れ良かったです。原爆症も
かかること大変なんだと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原子爆弾」が何なのかあまり理解していませんでした
今回の授業を受けて、原子爆弾のことを少し
知ることができました。私たちが来年度に行く原爆ドーム
は、もともと、今の半よりも大きく、とても立派な建物であったと
知りました。1つの原子爆弾によるたくさんの方が被爆し、
たくさんの方が亡くなつたこと聞いてとても悲しくなりました。
一瞬でたくさんの方が亡くなる原子爆弾を今持つては
国があるということに気が付きました。
今の広島は原子爆弾が落ちたとは思えませんが、
とてもきれいな街になっています。毎年、8月6日に、
思いいたる年に2回、大切だと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、わざわざ僕たちのために時間を使って
いただき、本当に有り難うございました。

僕が感じたこととして、自分たちが見た映像やら
話せとは、本当にほんの一端だらけなんだようと直感
しました。僕が実際に見ている訳ではないのに偉そう
ですけど、本当に「1%」にも満たないくらいの
実感や頭の中の想像なんだと思います。

1945年の実際に見た人では無いと、理解できません。
僕たちが考へてゐる爆発や被害とは比べられぬくらい
もっとショッキングで恐いものなんだ。と感じました。
それでも、少しでも基礎知識を学べたこと、少しでも
被爆者に近づいたこと、本当にうれしいです。

もう一つ気付いたのが、イギリスの番組を流してもらつた
際、原子爆発直前、スイッチがONされ緑色になりました。

その時いかの球体がくつたり、離れたり、してました。

そして最終的に太陽の方に燃え上かり、その後

広島を襲。たおに見えました。少し調べてみました
「核分裂」というらしいです。今回の講話で、兵器や
科学兵器を用いた戦争は二度と繰り返してはならないと気付くことが出来ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆、て とんでもない爆弾

だと改めて知りました。

太陽より温度が高いんだなんて

聞いて驚きました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

行動學だった。

広島の原爆をおとされてから、のこぎりに
ついて、死に、死ぬ怖いなと思った。

死体の焼却の気分が悪くなった

非爆者の体の表現がモグロテスクな
ものだった。4日目のウワサの言葉も

きく、原爆についてよく知れ、中心の
熱さは100万度また原爆雲(くわくがくも)が、
真空状態になたてがこんなことを驚いた。

よく、広島で軍の命令をされたなと思った。

また、原爆の恐怖よけられて理解した。
戦争って怖いな、と思えた。

アメリカの人もよくおとせたなと思った。
映像とかいい見て、原爆の再現の

やつ(か)実際の写真(写真)をみて、
驚きと恐怖をかんじた。先生の話を聞いて、
原爆というものは絶対に使ひは
ならないものだと思った。戦争もこうだ
と思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

「原爆」と聞いて浮かぶイメージが授業を受ける前と後で大きく変わりました。悲惨なことにも、想像できない程ということを知り、それと同時に現在の様を安心して生活できることが当たり前ではないことを強く感じさせられました。また、この授業を通して学んだことを今後の平和学習に活かし、自身や周りのことなどに意識をしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

今日原爆先生の言話を聞い2度目今まで
知らなかったことを多く知ることができた。
たとえば、その時の町や人々の様子など、なまなま
しくて、他の所ではあまり聞くことのできないそ
こにいた人の見たこと、されしたこと、聞いたこと
も感じた。他に原爆による原爆症や後遺症
の話を聞い2度目、戦争や原爆の怖さや
恐ろしさを強く感じた。また最後の方の原
爆資料館の映像で、自分は遺品や絵、写
真を見ただけでもよろしく見えたのに
人形の所で実際に体験した人から見てきた
感想が「キレイすぎる」という言葉だったところ
から、原爆が落とされた時の様子は、そこには
人にしか分からぬ、自分達からは想像で
きないほどのひどさだったんだなと伝わる。
2度、もう同じことは2度とよろしくはいけない
んだなということを感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

原爆ドームでお父さんが言った一言「それいりますが、
がしそうげきで頭(ひ)のニコニコす。私から見た519人
で二割(にわく)かと見。たけれど實際(じじき)は二倍以上(にじゆじやう)の二割人
だなと感じました。その大勢(おほい)の人たちを高校生あ
たりで体験するのほほんと思(おも)ひであります。

被爆した人は今でも原爆症で苦しめられています。
原爆のすごさを知りました。

被爆したあと、近くの川にとびこんだ、という事は
知。これがしたが、川の水(みず)、木(き)、草(くさ)、死(し)体(たい)
水(みず)、木(き)、草(くさ)、死(し)体(たい)、それでも川にとびこむ。死(し)体(たい)
死(し)体(たい)。防火(ぼか)水(みず)の中(なか)にも1人の死(し)体(たい)がうすく浮(うき)て
いた事を聞(き)き、必死(ひじき)に助(すす)めようと頑(がん)がんと手(て)
うなと思(おも)ひました。

広島(ひろしま)に原爆(げんばく)が落(おち)されたれど、手(て)原爆(げんばく)が落(おち)るといふ
のは、どこで知(し)ったのかを老人(おじいさん)に聞(き)ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の話を聞いて、原爆の怖さや、
戦争の怖さを感じることができました。
また、今まで知らなかったことを詳しく教けてくれたり、
実際に体験した人の気持ちや、そのときの
思いがわかったりして、貴重な経験になりました。
原爆を落とされた人たちの気持ちを聞いて、
どうしてのんびり生きているのか、なぜかの人たちの声をも
語ることにしたのが、アリカの人たちの声とも
あつたと聞いてます。誰かの声の怖さを
わかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆によってたくさんの人が死んでいたというへど
知りました。あの戦で何万人も人が死に、またたくさんの人
が今でも後遺症として残っていたりうのを今日学び、原爆の
本音に改めて感じました。

原爆が投下された時は今お分かりのように原爆によって
一生痛みはないだとうし自分の平和というのによう因とめて
あたらしく生きなければならないなと思いました。

娘と言つては「死体より生きる人を抱いた方がいいよ」と
やはり生きるよりいうよりか「死んでしまった人がいるから」です。
生きてても原爆において無作為に死んでしまった人の
ことを心配するよりも生き残った人と思えます。

アメリカで原爆を投下するまでの命令は人間ではなくて
今後一生心配しないようにするために命じたのが今年
平和式典へ来たのかなと想いました。

自分の平和の心に十三歳とおぼえて思ひ立つて手紙を
作りしれておりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今の日本では考えられないほどの昔の日本は大変でたくさんの人が亡くなってしまったんだなと思いました。

原子爆弾のおそれや、その後でのきごとなどが分かったがなと思います。

戦争は、人がたくさん亡くなってしまうので、何よりもかえってはいけないことだと実感しました。

映像を見ながらも自分がこの時に生まれて生きていたらと考えると、とても辛いことだなと思いました。

たくさんの人が亡くなつて、たくさんの人が悲しんでとても辛いで、辛いだなと改めて思いました。

人が亡くなることはとても悲しいことだ。今日の授業を受講して思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

原爆の恐ろしさや怖さをたくさん教わりました。
けもなにか条件をつけば日本を大としたり日本人の感情とかもしきり考え落すということを聞いて
たくさん驚きました。アメリカの人たちが日清戦争で日本にやられてもうそのままでやうなんと考えたりもしました。
たぶんでもそれをこよしたく、都地を分けたんと
をするのはよくないんだなとまたよく感じました。
また友達をなくしたり家をなくしたりもちといふ
思いまるその人達はきっと悲しいだらしあしいと思
おまた広島には5人に2人が原爆によって死亡された
ことはほとんどの人が死んだんだなと思いました。
また原爆について色々学べた火本当にすごいことが
起きたんだなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2 / 8

自分たちが今年行く予定である京都は、破壊の結果がまちがいなく分かるため、原爆を落とす地として最も強く推されていたということを初めて知り、もし本当に落とされていたりと少しだけ被害があったかを考えると、とても恐ろしい気持ちになりました。原爆の温度は、太陽の表面温度が6000℃なのに対して、地上から600mの位置で約7000℃もあり、地上でも3000℃という次元の違う高熱だったので、これを学び、被爆した人々がどれだけつらい思いをしたのかを想像すると、もう2度とあってはならないことであり、平和であることの大切さを改めて感じることができました。

また、衝撃波は、音速を超える毎秒440mの速さで、原爆が爆発したときと地面にはねかえってきたときの2回、大きな衝撃が起きたことを知り、当時の人は恐怖やまなからなかったんだろうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

あつためて原子爆弾のことを知りました。
最初は、爆発だけと思っていたけれどあつたので
話を聞くと原爆庄だった。衝撃波だけで
爆発だけでねは、ことを知りました。

ほかにも温度が100万度にもなるとても熱い水
太陽で6000度から7000度にはったりと暴走す
りではなく、ほのかなことにもなってしまうことがわ
かりました。

そして一番驚いたのは、死亡率です。なんと
40%もあることがあるとてもびっくりです。しかも被爆者
の確率が90%というところで広島の人のはこ
れで被爆者で原子爆弾の威力にを知ること
が出来ました。

モノコ形にはるのは、そのたま、空気の通りが
わかることがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原子爆弾が落とされて、たくさんの死者ができてしま
たことは知っていたけど、それがどういう状況
で、どんな風に被害にあっていたのかは知ら
なかっただけで、今回授業を聞いて、原子爆弾のこ
わさを改めて感じました。爆弾のまささまな
特徴が被爆者の方々を苦しめ、いつも
今まで見ていた光景が一変してしま
たのだと知ることができました。また、
被害は爆弾本体だけではなくて、それらに
巻かれたものの被害も大きくて、命が助か
ていたとしても、放射線などでの後遺症
で、ずっとたたかひ続けなければならなか
いと、もう少し悲しくや苦しさ
があふれてしまっていたのだなと思いました。私
が今、こうして笑顔で幸せだ!と感じられてることは
当たり前のことでないから、今平和だ!と思えて
ことは感謝して、今後もうこのようなことに
ならなよう、頭の中にちゃんとしまって、
幸せな世界が続けていきようにしていきたいくらい。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆が落とされたことは、社会の授業で習っていたけれど、今日の特別授業では知らないことは“かりて”した。

特別授業を受ける前は、7000℃の少年の意味がよくわからませんでしたが、原子爆弾のことだとわかりました。そして、原子爆弾が600m離れた地上でも3000℃あったことを知り、考えるのもつらい現実だと感じました。皮ふがはがれおちるなど、想像もつきませんが、兵隊さんたちも命が助かるけれど、後の対処など“大変なことは“かりて”とてもつらいお話をでした。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

前に広島に行きたことがあり、その時原爆について一度調べた時があった。その時も原爆の被害やおそれについてまとめたが、今回授業を受けさせて、その時知らなかた話が多くあって、もう少し深かった。前調べた時にも原爆資料館に展示してある物とは比べてないほどとは聞いていたが、義三さんの言葉を聞いて、新めてものすごい物だったんだなと思った。候補になれた都市に横浜が入っているのを見ると、もしかしてSでこらへに落ちる可能性があるという事で他人事でもないと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

授業を受けて、原爆の被爆者たちの、
当時の状況が、とても、苦しかったと
わかりました。

また、原子爆弾の、いはくや、どれだけ
強い衝撃だ、たのかが詳しくわかり、
写真や動画から、想像することができました。

今回の特別授業を受けて、自分は、今度の
修学旅行にいきたい、いニ、日本の歴史
として、「このようはこうがあったんだ。」といかり
心に残していきたいです。

実際の被爆者の話を聞いて、全て
想像して、理解するのは、とてもむずか
しいと思ひますが、自分なりに理解して
これから的人生につなげたいと思ひ
ます。

とてもわかりやすく心に残るお話をし
てください。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

218

僕は、今まで広島の原爆のこととは、行った日にもとかしか知りながら、たけど、今回の特別授業を受けて色々なことを知りました。例えば、京都が備おされていたことはすごく驚きました。もし、そのまま京都に落ちていたら僕たちは今も、生きずなくなっていると思うし、日本の重要文化財がたくさんなくなってしまうので本当にやばかっただなと思いました。そして、僕は今回の特別授業でとても悲しくなりました。当たり前に毎日か一つの原爆によって亡なってしまったり、お父さんやお母さんと離れ離れになってしまったたりした人たちがたくさんいるからです。この原爆は戦争から始まつたのでこれからは戦争が絶対に起きないおに盼社会が必ず思ひやりをもつてほしいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞かせてもらつて自分は、すごく悲しい気持ちと、ここぞ知れてよがなと2つの思いを持ちました。「悲しい気持ちでは、今までこんなことがあったのか！」とかどうか気持ちの前の「悲しい」という気持ちに自分はなりました。今までどれだけ人が原爆になつて死んでしまったか、それでも、生きた人は、どれだけ幸いだったかを考えると、本当に悲しくなります。そう思うと今はどれだけ幸いが、今はどれだけ楽しくすごせているが、そう思ふと、これまで戦ってくれた人、原爆になつてしまふ人、それで生れたとしても、全身が熱くもえてしまつて死んでしまう人、この人をうのぼがけて今自分



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

1

こういうのって、あまり関わったことがないかたが
ら、勝手に結構前のことなんだろうな、と思
ってたけど意外と最近でおどろいた。
原爆や戦争のことを知るのは日本人にとって
とても大事なことだと自分は思うので、この
ような機会をいただいて、ありがとうございました。

爆発の衝撃波は音速をこえてまうほど
で、人間をふっ飛ばされてしまうくらいの爆風だ
ということを知って、これかなと思った。

10代という若い年齢でも、訓練だったり、
相手に攻撃する変わりに自分達も死んで
(まうようがおろしく)作戦を行なさなければ
ないにとかかれた。

自分の目で、1回でもいいから原爆ドームを見に行きたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆の怖さは少し知りましたが自分の思っている原爆と今日学んだことが全然ちがってすご過ぎるまでいっぱぱいました。一番おどろいたことは原爆さんは太陽よりも熱いことです。また、 7000°C もある玉川zoomもあると考えると、当日は生きていた方々は本当に怖くとてもあつかったのだろうと感じました。

すごく怖がったのは、横浜が原爆投下の公演にあがけられたことです。身近でたまに出かけたりするので本当に怖かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生へ

広島や長崎で起きたことをスクリーンで見て初めて知ることもたくさんあったので、すごくいい勉強になりました。

原爆が落とされる日、いつもの日常で過ごしていた人たちがいた。たった一つの投下によってこの世を失うこととなり、悲しみと、原爆の恐しさをあらためて実感しました。だれも予想がつかなかった事件、私はこの事件を忘れず、今、多くの人の命を大切にしないように生きていきたのです。

今日は特別授業をしてもらいました。ありがとうございます。

この大切な授業を忘れないに、前向きに生きて、もうこんな事にならないよう原爆いなかで生活していきます。

本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の平和講話で特に印象に残ったのが原爆に当った人達の姿、形と、それを見ついた人が、資料館での人形を見た時に言つた「キレイ」と言ったのが印象に残りました。

原爆の威力はすさまじく、太陽が自分達の頭上、600mにまで迫っている状態だと言われた時、想像するだけで、背筋が下る。と震えてしました。ですが、当時の広島で、自分達に一番近い戸所でも3000㍍まではそれ以上でしたといふとして、その原爆の被害にあわれた方々の姿、形が、人間なのに人間ではないような容姿をしていましたと言つていい。しゃつたのが、心に響きました。そして、資料館での原爆をうけた方の人形、あれでもそれと言つてしまふ程の悲惨な状態だと、とてもよく分かりました。

これから修学旅行で広島に行く際、今回の平和講話を思い出しながら、どうほとつらい鬼りをして、過こしたのか、その人達を学んでから、学習に取り組みたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して



名前は裏面に記入してください

原爆のことをたくさん聞かれた。

原爆はよくあります。あれこれ聞いた。

原爆のひかりがあつたのがうるさいと聞いた。

せんせいおもてまなきはましいと感じた。

左耳はアスラビ了吗かなく思ふ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の話を聞いて、自分達が14年間生きて少し勉強して、知っている事と、実際に二つにいた人とだとどうが違ひすぎでびっくりしました。

隊の人達が死体の火葬をしたり放棄するときに感じたいやな感じと、ふくらはぎを1か月した生きている人を運んでいる時の安心?する気持ち、実際に死んでいた人の目を見たことないに運んだ事もないけど、すごくうらうたと思いました。そして、その後の生きた人を運んだ時は、なぜか「からないけど、安心、みたいな物を感じました。そして、原爆の中心温度や外側の温度が100万から7000になると、こののを初めて知りました。これは太陽の表面温度よりあつくて、この温度せいでたくさん的人が黒焼になってしまったし臓器の中の水分が蒸発してはだし、皮により死ねたがった人たちのひづかはがれ本当にががったたうじ、それはひとり事は、もう二度と起きこましくないと思いました。 今日聞いた話は3年生がやるしかくりこうや、和平学習につながりきたいと思いました。本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

自分は今日の授業で広島で
起った原子爆弾の投下による被害
は自分の想像よりも何倍もひどい
ということが分かりました。
また原子爆弾の近くはすぐ近くで投下
された場所の温度は1番高い所で $100万^{\circ}\text{C}$ とい
う温度までいったい衝撃波や放射線
によって建物が破壊されたり原爆症に
かかる人が現われたりしました。それを聞いて
もう二度と原子爆弾による被害は起きこまく
ないと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆と聞いたら最初は原爆ドームしか思つかなかつたけど、今、話を聞いて色々な感情が混雜します（一番印象に残っているのは、まさの）先生のお父様の言葉で、「きれいすぎる」と言っていたのが衝撃でした。この言葉の中にはきっとあの時の光景や思いがのせられているのだ（●と書く気持ち）原爆を覚えてない私からでは想像もできな（ほど）とにかく人が人のようなものであたり、ひさんな状態であたり、それをめたその人の気持ちであたり、原爆を観てて見ててしまふ方向であたり、言葉に表せない程の事を今私は聞いてきたんだと、とても考えさせられました。2度と原爆が使われまい事を願います。実際に原爆ドームを見た、そのとき、自分は何を思って今日を思い出すのか、この講演を忘れる日はないと思いまして。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞い、本当にTSUSHIでした。もう絶対にくりかえして聞いたらいいました。私は一度広島の原爆資料館に行きましたが、そのときも本当はTSUSHIと思いましたが、やはり実際には想像したじやないと本当のところはわからなかった。当時爆心地の近くで120度20度だったりで、ほうじやのうどて180度20度、木や家屋なども失ったTSUSHIを感じました。でも、原爆のちょうど1年も前に、何となく人の魔物化と見て、原爆を知る28人がいました。それがいつかいつた。今のように積極的に原爆のことと知って、今回のようない原爆を知らない118人の話を聞い、原爆のことを3回後には之を聞くだけだ」と思いました。また、今はウクライナのコラボレーションで、古い歴史からひと、世界の生き残りどうなことが起きて、とても複雑なこと、日本国内だけではなく、外国にも原爆のことを広めたいと思っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆とはどういったものかが実際に知ることができました。私も子供の時に広島の原爆の話を書かれてある絵本を読んだことがあります。その絵のまゝ原爆を受けた町や人々がどうなってしまったのかが描かれていました。その日は朝ごともない朝起きなりひさんなものもあればまた夕方にはとても悲しい原爆だけなく戦争したいがこの世でいいものとは思いません。国の上層は自分の利益のために平気で人を戦せしむるばかり、自分たちは上から見てるだけ。軍の上官は一ぱんの兵士に立派生きさせ自分はいかずにはいたる兵士たちに敵対心をもたせていく。戦争が始まると後悔も土は革やかな生活を送り一ぱんの人々は家や家族を失い生活中に苦しんでいた。それなんたらがまさに戦争などいわけがない。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、話を聞く前から、戦争の事や原爆の事について、自分で調べてみたり小学校でも学ぶ機会があったけど、今日話を聞いてみると、また前とは違う事を考えました。自分で調べると実際の状況は、少し分かるけどその時の人気が何を考えているかとかはあまり分からぬし、分かったとしても文書で、あまり感情が伝わりにくかったです。でも今日、本人ではないけど、本当の話を1番近くで話を聞いていたような人が来て下さったので、その時に起ったことはもちろん、光の色やにおい、原爆がすぐ近くに落とされた人達の事などをくわしく聞いて、調べるよりも何倍も実際の状況が分かりやすかったです。最後の方の原爆資料館での「綺麗すぎる」という言葉が印象に残りました。今、原爆が落とされた時のことを再現した映像などを見るだけでも怖さを感じるのに、それは綺麗すぎて、さらに自分も死がすぐ近くにあった状況では、とてもたえられそうではなかったです。今生きている人のほとんどにとって、第二世界大戦は歴史だけど、70歳以上の人たちはその時代に生きて、記録以上にひどい経験をしたという事が不思議に思います。また、経験として伝えられる人が減っていくのも残念です。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

最初に見た映像では原爆の時の人々の姿など風景や感情をくわしく説明していくことも怖いと感じました。原爆に飲み込まれた人はもちろん、その後に処理をした人など、多くの人達が苦しそうに泣いていたのが伝わりました。

原子爆弾投下都市の条件や丁字形の木造生橋に投下することや投下後、すばやくトボウと工夫がなされたり、多くの日本人を殺害するためにしならうに計画されていったことを知り、戦争の重さを改めて実感しました。前に映画を見た時には原爆にはどれほどのものや人をとかす力があるのか、それによりどのくらいの人が被害にあってしまったのか、などと誰も人があたけれど、原爆先生の特別授業を受講して原爆は7000度と太陽の表面温度よりも高いと知り驚きました。また爆発時の被害だけなく放射線のえきょうで原爆症のようしが出たり、原爆後たくさんの被害が出ることを知りました。また、それにくえで今でも原爆の傷を抱えている人もいるのではないかと思いました。原爆先生がお話をされたこと以外のことでも自分で調べたりもして戦争のことや被害にあった人のことをもう少し知らうと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/8

小学校の授業で、第二次世界大戦はつい。広島、長崎の

原爆はついで学んだが、今日の特別授業でより詳しく、

原爆はついで知ることができる。とくに「何 場にしつづか?

これがまだ分からず。例えは、なぜ 広島と長崎で? なぜ?

また、候補地といふに小倉、京都、横浜、新潟で、なぜか?

11月2日を初めて知った。広島に投爆場所に、映像と、死んでいた

写真やイラストなどを見てからも被爆下に、と

多い。実際に被爆されたのは、1945年8月6日。とても悲しい

事件ではなかった。また、被爆して、傷跡と隣り合って出ている

市へ体験談を初めて聞いたので、とても怖い思いに陥る。今でも

原爆はまだ被害数の3種類(1945年8月6日)被爆者7万2千人。

世界で初めて核兵器が使用され、日本の歴史に記録され

てしまった。何ていうか、原爆、核兵器による一番の恐れ

を感じました。修学旅行で広島資料館を訪ね

際は、今日の授業で学んだことを思い出してか?

見学しました。(手帳)



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は今回の特別授業を通して、原爆の時の下泣や、葬三回
んが体験した原爆での被害の一つの原爆症など、その日、広島に
起ったいろいろ出来事と少しだけ知れて良かったです。その日の
内や、その後の後遺症などで亡くなる人が死んでしまはる事はとても悲
しい事で、生きのびた人で自分以外の家族が死んでしまったり、
残された方も、亡くなる辛い思いをしてまた死んだと思ふと、もう
二度と二度と死は起きなければいいなと改めて思いました。
そして、これからも広島の世界遺産である、原爆ドームを次の世代、
そのまた次の世代にも、戦争での出来事やそこでの被害を知っても
らうために思いました。そのためには、戦争や原爆であつて出来事
を忘れない事が残されていくにはいいなと考えます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は原爆のことについて全く理解していませんでした。原爆がどれくらい人の命をうがたが、どれだけの破壊力をもつていたか。原爆のおそれしさがとても良くわかりました。また、今現在でも原爆症の症状を持ってる人がいる間にもう60年以上もたったこの間にこの症状を持つ人がいて原爆のおそれしさがつたありました。そして先生にも言いましたが、僕は原爆のことについて全く理解してなくて、僕には一目瞭然ですが無くなつてほうのか想像できなくてでも今日の動画を見て、本当に一目瞭然になつてしまふのが理解できました。それで生き残った人も人ではなくてしまつて、これまでだけの人から落された後も死なつてしまふのがなくすごくひさと左ひょうきうだとゆうことがあかりました。そして今もなまんのキスが癒せない人もいまは、両親兄弟をなくしてしまつたじい、ひいじい左想像ができ、原爆が最悪なことがわかりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

自分の祖父が原爆を体験していく、小さい頃から戦争や原爆についてのお話をたくさん聞いていました。今回改めて先生からのお話を聞いて、胸がはり下けそうになりました。「原爆や戦争は一瞬の内に全てをうばう」という祖父の話思い出しました。映像や画像で見るものは、和達からすると悲惨だったり悲哀を感じる物ですが、体験者からすると「絶麗に見える」「地獄か天国に来たかのよう」と志されさせない「辛い事実となつては現状が悲しかった。アメリカはどんな気持ちで原爆を落としたのか、日本はどんな気持ちで真珠湾を攻撃したのか、お互いの事を思うなどして平和につながると考えることができました。今日、お話を聞いたおかげで、知りなり事や戦争の悲惨さ、今後、二つのFを出た出来事があつてはいけないと改めて強く思いました。このFを出た出来事と聞く側だけではなく、伝えられたとしても日本にはこんな辛い出来事があつた、という事を伝えていくことに思います。また、今と一生懸命生きようと強く思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

僕は教科書で原爆ドームを見たことがなく
正しいことはあまり知りませんでした。戦争がおこる
せうたいに死人が出でまうから戦争はだいじけないと
思いました。しかも広島におこされたのは原爆で
一番ひかいが大きい爆弾で、あんなに高温とは
知りませんでした。太陽の温度をあんなにもかんたんに
セロфанで思っていました。また原爆があち
たのが「8月6日」とよくのぼりますが、8月6日です。親からは
少しあとさにすこし話されたりして、あせいあほでいました
んでした。今でも被爆した人がいると思うとそこ
たいへんだと思います。そしてキノコ雲が出来ることか
ねんでたうと考え、それが空気のほうとうことだと
空気がかきくたり真空になるとまで分かりました。
でも真空になつたこと、あたりは空気がないな
ずこの人がくろくなつたと思います。そして原子力爆弾の
投下都市の条件とか聞いて、せんがのところが
天候が悪さがつたらよがつたのにと思いました。
今日はありがとうございましたこの木縁会に広島のことにつ
いても、と調べてよろと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

名前は裏面に記入してください

表

2/8

今回いや、前から、戦争など、人の命に係あることにまする危機感の強ひゆうでした。しかし、それは、単純な自分の生命に対する不寧でした。原爆というものは、人の命を奪うために作られた訳で、その目的があり、人の命を多く消した。それで、やはり、被爆者だけでなく、被爆者と愛してりた人、被爆者に愛されてりた人、さらにモ、と多くの人に苦痛を加えるものでした。考えてみると以上の苦痛を。今も、多くの地域で戦争が起つて、いると聞きます。その中でも、原爆や核兵器の使用をほのかしていふ國もあると聞きます。ニュースの中で、しかし、世界で、起つてゐること。世界が、いや、人類が今こそ、深く戦争による苦しみについて、考えるべきだと思います。さらには、今、命の尊みを理解している人が少なく思ります。今日、私が、この命の尊さを理解できる機会を得ることができるように、100年後の人に、命の尊さを理解できるように、私達が、平和を保つよう、努めてやきたいと思、ております。

本日はありがとうございました。

世界に平和があることを心より祈ります。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はとても二物のものなんだなと改めて感じました。

跡型もなくてくは、でいく人たすや、

皮膚がとけて人間の原形、じゃなく人たちはとても

どう思ひをしたか話を聞いて下かがいました。

また19～21歳の人たちは国へために死ぬ気で

戦、で何で、と思いました。

特に特攻隊員の人たちは、どう思ひを

たくさんしたと思ひました

自分がもしあの立場だったら、絶対二つでまな、一

広島市35万人中14万人が亡くなつたと初めて見て

びっくりしました。また、上昇気流が起り、

雲が上へ行き、で八さんは、↑とよい層がでますと

ヨリ免かれによほして。

修学旅行に広島へいって色々な人が立ち場として

何事を考えたかです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2 / 8

今まで全く知らなかった原爆のことについてたくさん
知ることができました。原爆が落とされて一瞬で人が
灰になたり、全身大ギレなどをして、すと考えられないほどの
痛みがあって亡くなってしまう人が「ほぼだと」知り、映像や写真
からでもその悲惨を感じたけど、実際はそれ以上だと思い、
改めて原爆は恐しいなと思いました。

また、被爆して大怪我をした方や、亡くなつた方を助けに行つた
兵隊の方々も、回りから「助けてください」と言ゆれて「助けてあげ
たい気持ちしかなかつたけど、どうにもできない。」という言葉
を聞き、すごく胸が痛くなりました。

今日の特別授業を通して話を聞いてそれで終わりにしないで、
原爆の恐しさを次の代へと話し続けていくことが大切だ
と思います。そして、戦争のない世の中にし、被爆者の
方々をこれからずっと忘れまいようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆がどれだけ恐ろしいものかがよくわかりました。実際に原爆が落とされた時に生きていた訳ではありますせんが、原爆のお話を聞き、とても胸が痛みました。また、もう二度と原爆はどこにも落とさないでほしいなと強く思いました。急速に変わっていくこの世の中ですが、私ができると、私達ができると探し、ナリオハ世界をつくっていきたいなと思いました。今、世界では戦争で苦しんでいる人が沢山いると思います。日々、痛い思いや悲しい思いを抱きながら、その人たちの支えに付れるかどうかわからずせんが、私は自分から積極的に募金の活動に力を入れたいなと思いました。私は今とても幸せだと思っています。毎日沢山食べて、友達と沢山遊んで、沢山寝て...。幸せの感じ方は人それぞれですが、今、私は幸せです。と笑顔で言える人を増やしたいです。自分の幸せを他の人にわけてあげられるくらいの優しい人になり、少しでもこの世界を平和で満たしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、戦争をしている時の兵隊さんが思っていることや、戦争時の状況についてくわしく知れた。実際に兵隊をしていた人の話を聞いて、被爆地や被爆者の様子が、どれほど残酷だったかが伝わり、とても悲しい気持ちになった。また、当時の被爆地を見て、今の環境がどれほど幸せなのか実感できた。これから自分が生きていく上で、戦争のことを見直す。戦争で亡くなってしまった人の気持ちを背負って生きていくたい。また、今何気なく過ごしていることに感謝しながら生きていいたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆先生の話を聞いて、昔の日本がどれだけひさんな状態になっていたのか、原爆の小布さ、どのくらいつらく悲しいことだったかを少しほは知れました。本当のいたみやそこに行きた人たちの気持ちを矢張り少なく全てを理解することはできないけど、映像や写真などを見て今後の日本や世界では絶対にあってはならないと思いました。そして、当時の被害で広島県の約14万人の方が亡くなり、24万人の方が被害を受けたにもかかわらず、今の広島県はだいぶ回復してきています」と思いました。多くの方が亡くなったり、家族を失うことがありたけどそんなことが「これ以上降なくなつてほしい」と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

言葉に言い表し辛い原爆の恐さを知った。特に、前半の爆心地に向かっていく部分で、皮ふかいたれた人、人なのがすら分からぬい人、被爆した人の熱で蒸発した水、川など、どれも非現実的な内容で、こんなことが70年前の広島であったのかと衝撃を受けた。また、爆心地近くの火傷かれていた人たちの兵隊らへの非痛な原爆いぢりが、聞くだけで耳が痛くなつた。そして、その人たちの願いをやむなく聞けず、その後死体の処理や生存者の手当に当た。た当時の兵隊たちはすごいな、大変だったんだろうな、辛かったんだろうな、気持ち悪かったんだろうな、帰りたかたどうなどと思いつがこみ上がってきた。被爆した人もそうだが、広島にいた兵隊たちのためにも、原爆を忘れてはいけないし忘れてはいけない。さらにこの話を自分の子供などに語り継いで、今も美しい広島の非さんな過去を氣がたことにしては絶対にダメだな、と思えた授業だった。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆はこうあって思いました。原爆資料館のところの人や会議がかぎってあって、きれすぎるといっていたのでいはたがたちました。人の思いやりや大切さをじまけ、ケガ人が助けをもとめてる時に助けてあげていて、日本人は優しいと思ひました。そして原爆のことを色々な人にし、こうはじめて見口ました。なぜかというと、色んな人にし、もらえたらこのまま戦争がなくなるかもしれないと思つたからです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生のお話を聞いて、私は原爆のおそしさや、一瞬で人を消さてしまう凶悪さを感じました。被災した方がかどのような気持ちでその時を迎えたのか、私にはほんのりされませんが、たった1秒足らずでその人生の意味を消さてしまう原爆を、そうすることになってしまった。その状況を、戦争をはじめてしまふ人が許されることはないなどと考えました。また、現地でその地近くを目にしながら、救助活動を続けていた方には尊敬の意しがありません。助けたりのに助けようがない、人間なのに人間とは思えない、これはとても悲しく悲しいことだと思います。被災した方が、最後まで戦い続けた方々、その人々の苦しさやむなしさと思うと、やはり戦争や原爆などの話は、語りついでいかなくてはならないと思ひます。それから全てには加害者がいて、被害者があります。語りついでいくことで、加害者側はもう二度とおろかなことをしないように、被害者を減らしていくようにしていかなくてはと、改めて考えました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講してみて、私は自分の思っている五倍ほどの原爆の恐ろしさを実感しました。前半の時間で見た映像では原爆の投下されたしゅんかんでんな状況だったのか、その後とのようになつたのかを見たのが生々しい写真や動画を見てても怖がつたです。自分が思っている以上に原爆のけりょくが強くておどろいた時もありました。とくに一番印象に残っているのは人か人間の形をたもっていないうきの写真で今まで見たことがなかったので「こんなことがあるのか」と思いました。前半で見たもの全てが自分のそうそう以上で、またく信じられない事ばかりでした。次に後半のお話のことでは原爆のくわしい話について聞いた時は今まで知らなかつたことはばかりでした。例えば、原爆が落とされたのは地上ではなく上空だということです。上空で爆発したというのに地上では3000℃だったりなど色々な事が知れました。原爆について今回の授業で知れました。良かったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のことは詳しいは全く知らなかったけど、想像以上にひどい
な物だった。説明や資料を見ただけでは当時の本当のひどさは
分からなかつたが、原爆について少しでも知れたのは嬉しかった。
被爆者的人はひつには玉のび"ようとしている、その光景を見たか"い
も、國のために動いてしまはず、とても奇"い"と思つた。広島の天候が
"く"しても悪ければ"こんな事に付たらなかつたかもしだす!!。
原爆の玉が太陽の表面温度より、1000°Cもあると"い"うのは
想像してもそれなりほど"だ"。空気が膨張しモノヤニ
上昇気流があり、真空地帯になったという、原爆のけがな力。
それ以上上に"けた"ほどに高くのぼる原爆雲。
翻線、衝撃波だ"け"はおこなつた、放射線の被害。
話だ"け"も聞いて分かる。かとこしくや、それが威力をもつた原爆弾
を人間が生みだした、"い"うのは、かとこしくとも同時に技術の発達も
原爆資料館の資料だけでも、ものすごいほどのうちに、全くの
別ものだ"。こいつた義三さんの言葉がとても印象に残つた。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆は知っていたけど、かわいい事
はなかなか言間べらねず」にいたので
勉強にならなし、改めてこめさを
感じた。実際に被害を受けた
人々は、とても苦しかったと思う
生きのびたとしても、放射線のこうい
症や、原爆症でつらいのに、それで
人がんぱって生きようとしている姿
を見て感動した。このことはせつたり
に忘れてはいけないことだし、
こうして先生が話してくれた
内容を、私たちも次の世代の人たち
に伝えて原爆や戦争の悲しさを
しっかり理解することが大切なんこと
だと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のおそしさ、危険さを再認識
することが出来た。

今ではさうに強い軍事兵器があるので
第三次世界大戦が始まってしまったら...と考える
とぞっとする。また、あんな出来事を忘れない
ようにすることが大切だと思う。忘れないた
めにも、原爆先生や原爆ドームを通して、
原爆、戦争のことを探り解しに後世に
伝えていかなければとうちで思った。

今後自分たちは原爆、戦争にまきこまれない
ように、しないようにはどうすれば
いいかを考えることが重要だと思った。

今日の特別授業を通して学んだことを
3年生の修学旅行で行く広島で生かして
いけたういいなと思います。

約100分の間すばらしい時間をありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/8

私は原爆先生の話を聞いてみんなが思っていると思う気持ちになりました。昔の原子爆弾についてたくさん知りました。さらに原子爆弾が投下される都市についてまでも良く知りました。特に、原子爆弾の爆発についてが一番よく知りました。原子爆弾の投下位置では9632mの高さから約4kmもはなれた場所から投下して地上から600mの高さで爆発するようになっていたなんてびっくりしました。さらに爆発してきた火の玉の温度について太陽と同じくらいの熱さがあると知りびっくりしていました。原爆先生からお知りもらえたことを覚えておいておこうと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は原爆でお亡くなりや兵隊が爆け生直後でやつて
いたことなど、当時のことについて深く知ることができま
した。話を聞いていたいと思いますことに、「えいごこうな
たのが行きと思つたことがたくさんありましたか」そこでは2つ
言います。

まず1回目は、なぜ1回目に広島に原爆を落としたのかです。思ひた理由は、話の中で天気があるから、小倉が長崎といつていて、なら小倉でも長崎でも良かったのではないかと思つたからです。

2回目は、アメリカがホーリダム宣言したのになぜ日本はそれをことわり戦争を続けたのかです。理由は、日本はなぜ戦争を続けて單なる継続たのか、それをことわりいなければ、原子力爆弾ではなく、死者を出さなくて済んだのではないかと思つたからです。

話を聞いて、戦争といふのは「人を消していくものだ」と思ひました。今後このことかあいこらないようにできるこ
とをしていきたいと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

初めはあまり実感がわがなく、本当にこんなことが現実に起ったのが、どうしようか、どうほどの内容がこわくがないものでした。

そもそも原爆について少しの知識はあったが、実際に経験した人から聞く内容はそれの何倍おそらく鳥はだが立ちました。

また、原爆を経験し、生きのった人たちが、当時、周り人を助けていたり、苦しむ人が多勢いたり、そのような過去をもつたまま、生きづらくなるのはとても言葉に出ないようなことを自分も感じました。

資料館の絵や写真から当時のことがとても良く分かりました
が、経験者の人方がすれば、「こんな優しいものではない。」

と思えるほどのものだと知り、自分たちが想像しているのは、王位に登るほどの差がある、実際とはちがうんだと感じました。

もし、自分が被害に合う人間だとしたら、とても胸がくさくなるかもしれません。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

あんまり戦争の話に興味を持つていなかつたけど、
今回の話を聞いてまた興味を持つことが
できました。

まー一つ目は自分が知っている矢崎おじも、もう悲惨な
こと起きつたことです。

自分が知っている中では、原爆の威力と原爆が落とさ
れた場所からいかにわかるか?など、今回の話を聞いて
原爆の分布について知りました。

そして二つ目は戦争の犠牲者からの話です。
本当に話を聞いていると、その話がうきたと思つたけど、
実際の写真や動画などを見てるうちに戦争をやつては
いけないと改めて気付きました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

授業を受ける前は原爆が具体的にどんな物なのかあまり知れていたが、たが今回の授業を通して原爆の被害の大きさや相手がどのようなことを考えて原爆を落としたのかなどを考えることができた。太陽よりも1000度近く高い原爆が地上600m付近にあたと考るだけでも恐ろしく思えた。他にもコンクリートに座っていた人が、いきゅんと飛ばされてしまったなどとても衝撃的な事も矢口ることができた。

元々の原爆の候補として横浜や東京などの自分が行なったことのある所にも落とされたいた可能性があったということを今回知ることができた。

原爆が落とされた後は何十年後とがても原爆症という後遺症が残ってしまったりして、落とされた後でも長い間苦いでいる人がいることも新たに知れた。今回おなは悲惨なことがもう一度走らてしまはないように自分でも原爆について調べたりしたいと思った。

今年の修学旅行で広島に行った際に原爆の資料館で当時の原爆の時の写真を見て自分でもって原爆について色々考えたいと思った。



じゅこう 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の特別授業を通して、まず「 1000°C 」の「年」と
いうのは、エラ・ゲイ（母）から生まれた（落とした）
リトルベイ（年）のことだ」と分かりました。そして、
リトルベイ / 原子爆弾 によって、言葉にも文字に
も出来ない驚きと恐怖感を覚えました。しかし、
この気持ち以上の何かを当時の特別軍隊や
被爆者が感じたという事実から、私たちは
ただ 1つの大きな物が落ちたことに比べて、
今まで生活していく環境が一瞬でなくなり
しまった方達の幸せ・平和を祈りつつけること
しか出来ないことを目のあたりにしました。
川にしきつめられた遺体、そしてなにも残ってい
ない昔の建物、色々な方達の色々な思いを
感じたりながら、修学旅行へ行くのに構えて
してこうと思ひます。
二度とこのような事が起らぬ。世界の方々が
平和に平等に生活できることを願ひたいと
思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は広島原爆について調べたり、考えたりしたことがあまりなく、
当時こんな状況だったのかを今回の特別授業を受講して、
知ることができました。実際の映像を見て、広島原爆に至る
までに、「原子爆弾投下の条件」、「原爆を投下する都市」を
考えていたということを知り、原爆や戦争の本当の恐しさを
感じました。落とされた原子爆弾がどれほど恐いものか、
原子爆弾によって何人の人々の命が失われてしまうことを考える
と悲しい気持ちになりました。また、義三さんの体験を聞いて、被
害にあった人々の恐怖を考えると、自分の身にこんなことが起ら
なくて良かったと思ってしまうけれど、被災者や大量の放射線を浴び
原爆病で苦しんでいる人や亡くなれた方々のこと考えて、実際に起きた
ことを伝えて、色々な人が理解してくれるといいなと思いました。三年
生になり、修学旅行で原爆ドームを見に行こうとなつた時に、当時
の状況を考え、見学したいと思いました。今回学んだことを、修学
旅行や今後に活かしていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

改めて、ヒロシマの原ばくの悲さん
さを実感しました。ひとつは、げんばく
によるヒロシマへの被害、いたつめ
はい力です。太陽レベルで熱いばく
だんが自分の身にいりそそぐと思うと、
恐しいものだなと感じました。そのような
被害にあた人達のためにも、今僕
たちにできることを考えていきます。例え
ば、僕達は被ばくした訳ではないか
ら、本当の恐しさを伝えることはできない
かも知れないけれど、最低限 1945年に
起こった出来事を忘れないようにし、こ
れから時代に伝えていくという風
にできたらいいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆の特別授業を受けて、自分が今まで見たり、読んだ"今まで見た原爆に関するものが全とやさしいように感じました。なぜなら、自分が思っていた想像も悲惨で残酷だったからです。たとえば"爆発後の救助シーンのときで、本などではけるときより詳しく、焼け焦げた状態などを知ったからです。助けようとした人の手を握って、引き上げると皮膚がはがれ落ちて、手には皮膚だけが残っていましたこともありました。とても怖く思いました。でも、それと実際体験した 池田幸三さんはもっと怖がったし、その場にいたくなりという思いをしていたのがないと教えてもらいました。また、中学3年生の修学旅行で広島へ行くにあたって、もと多くの事を学んで 原爆を忘れないために自分にできることを自分で生活していくといふと思いました。そして、実際に行ったときには色々なモノを見たり詳しく原爆について知りたりし、深めたり思いました。